

前回の議事内容と主な意見

前回の議事内容

第5回 令和5年12月15日開催

■報告事項

(1) 各事業の報告について

○5地区再開発事務局

- ・日本橋一丁目中地区市街地再開発事業の工事用仮囲いへの装飾について報告（5地区再開発事務局）

○首都高速道路㈱

- ・事業の進捗状況について報告（首都高速道路㈱）

○名橋「日本橋」保存会

- ・日本橋学生工房の取組について報告（名橋「日本橋」保存会）

■議事

(1) 首都高高架橋撤去後の日本橋川水辺空間の将来イメージ（事務局案）について

- ・日本橋川水辺空間の将来イメージ（事務局案）について説明（区）

(2) 3D都市モデルによる日本橋川周辺のまちの状況について

- ・作成した3D都市モデルを資料と動画で説明（区）

主な意見

- ・ 防災機能もありながら、水辺に親しめる護岸を考えなくてはいけない。
→（区）修景イメージを早急に取りまとめ、関係機関と十分に相談し、安全性の確保をする必要があると思う。
- ・ 川から見た街の景色について、ある程度のルールを作れたら良いと思う。
→（区）区の歴史としては、川に背を向けるようなまちになってしまった。常に川を活かすように工夫しないと維持できない部分もあるので、良いイメージを作りながら施策の展開も合わせて考えていきたいと思う。
- ・ 水質浄化の対策を早めにやらないといけない。
→（区）関係自治体が複数あるので、調整しながらになる。自然体系に関する課題も含め、難しい面もあるが、努力していく。
- ・ 首都高高架橋の地下化は千載一遇の機会なので、ぜひ川を活かして日本橋の復興につなげていただきたい。
- ・ 水辺に親しめるような空間になれば、新しい日本橋の魅力につながると思う。将来イメージが実現できれば、新しいまちによみがえってくれと感じた。
- ・ 川の整備だけでなく植栽も重要。年間通じて楽しめる並木道のようなアイデアを出してもらいたい。
- ・ 将来イメージの実現にあたっては、関係者間でイメージを共有し、実現に向けて協力していくことだと思う。技術的な検証は必要だが、どう課題をクリアしていくかが大事。